

通し番号	4070
------	------

分類番号	16・57・22・02
------	-------------

(成果情報名) 黒毛和種肥育牛仕上げ期の稲わら代替飼料にストロー類が利用可能	
<p>[要約]</p> <p>イタリアンライグラスストロー及びトールフェスクストローを粗飼料とし、26ヶ月齢より出荷時までの約6ヶ月間黒毛和種肥育牛に給与し、稲わら給与の場合と比較することにより代替の可能性を検討した。</p> <p>その結果、飼料摂取量、体重推移及び第1胃液性状は、これら2草種と稲わら間で大きな差は見られなかった。また、枝肉成績および理化学的肉質成分に関しても、草種間で大きな差は見られなかった。</p> <p>以上より、イタリアンライグラスストロー及びトールフェスクストローは少なくとも出荷前の約6ヶ月間は稲わら代替飼料として利用可能であることが示唆された。</p>	
(実施機関・部名) 神奈川県畜産研究所 畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

口蹄疫の発生等により、近年輸入稲わらの入手が困難な状況になっており、これに代わる粗飼料の確保が急務となっている。そこで、入手が容易な牧乾草のうち、栄養成分・性状が稲わらに近いイタリアンライグラスストロー及びトールフェスクストローを用いて給与試験を行い、飼料摂取量・体重推移・肉質等を調査することにより稲わら代替飼料としての可能性を検討した。

[成果の内容・特徴]

1 体重の推移について

試験終了時の体重は、イタリアンライグラスストロー給与区が他区に比べやや小さかったが、全試験区間で有意差は見られなかった。

2 飼料摂取量について

全試験区ともほぼ同様の推移を示した。

3 肉質について

枝肉格付ではトールフェスクストロー給与区が最も優れていたが各区とも大きな差は見られず、理化学的肉質分析結果においても全試験区間で有意差は見られなかった。

[成果の活用面・留意点]

- 1 イタリアンライグラスストロー及びトールフェスクストローの26ヶ月齢以前からの給与による体重推移、肉質等への影響について検証する必要がある。

[具体的データ]

表1 試験区および体重推移

試験区	試験開始時 体重(kg)	試験終了時 体重(kg)	1日増体量 (kg/日)
イタリアンライ グラスS給与区	565	663	0.58
トールフェスク S給与区	585	698	0.65
稲わら給与区	630	686	0.57

Sはストロー。なお、体重は各区とも試験牛の平均値。

表2 枝肉成績

試験区	枝肉格付	出荷 月齢	枝肉重 量(kg)	ロース芯面 積(cm ²)	バラ厚 (cm)	BMS No.	BCS No.	販売金額 (千円)
イタリアンライ グラスS給与区	A5、A3	32.0	422.5	53	7.9	6.5	3.5	932
トールフェスク S給与区	A5、A5	31.9	454.5	58	8.1	9.0	3.5	1,073
稲わら 給与区	A5、A4	29.3	441.0	61	8.3	8.0	3.5	1,041

表3 理化学的肉質分析結果

試験区	水分	粗蛋白質	粗脂肪
イタリアンライグラスS給与区	49.3	14.8	35.9
トールフェスクS給与区	42.6	12.3	44.4
稲わら給与区	43.0	14.4	42.9

[資料名]平成16年度試験研究成績書(繁殖工学・乳牛・肉牛・飼料作物)

[研究課題名]稲わら代替飼料の給与試験

[研究期間]平成15～16年度

[研究者担当名]水宅清二・江川壽夫・秋山清・折原健太郎